

“大分の歌”音楽祭企画書

主催 / 大分大学経済学部創立 100 周年記念イベント × 四極会
× 大分大学経済学部社会イノベーション学科渡邊ゼミ

【大分の歌音楽祭の目的】

わたしたち学生は、昨年度、大分の大茶会開催をきっかけに「自遊展(四極会芸術文化祭)」から派生した音楽祭を、これからも続けていくための地盤を作っていきたいと思っています。そこで学生ならではの視点を取り入れ、高齢者から若者や子どもまで楽しめる音楽祭にしたいと、企画から運営まで主体的に行っています。様々な団体の皆様に出演していただくことで、大分の良いところを改めて認識していただける機会になればと考えています。

また、今回の音楽祭は、2022 年に迎える大分大学経済学部創立 100 周年記念イベントとしても位置づけているので、四極会会員の方々をはじめ、四極会会員でない方にも、改めて大分大学について知っていただける機会になればなと思っています。

【大分の歌音楽祭 開催趣意文】（四極会「自遊展」幹事作成）

大分を詠った名曲の数々がある。それらは「ふるさと賛歌」「ふるさとの心」である。ふるさとは時代の流れの中でその姿を大きく変えてゆく。しかし過ぎ去りしもの、過ぎ去りし頃への懐かしさや愛は、決して後ろ向きの感情ではない。現在・未来への生きる力となり得るものなのだ。

ふるさと大分をもう一度心から愛する…。大分に生きる我々自身の幸福論、大分発展へのエネルギーの源泉をこの気持ちに求めたい。その象徴として“大分の歌”がある。“大分の歌”に再度耳を傾け、気持を寄り添えたい。この音楽祭はそういう発想から生まれた。

<うた>という言葉は歌とも詩とも唄とも詠とも書く。言葉がありメロディーがあるが、そのメロディーは演歌から歌曲、民謡から詩吟まで多種多様だ。独唱もあれば合唱も。歌手があれば吟者も。それらを一同に集めて音楽祭を開くと楽しいに違いない。演奏が終わって家路に急ぐ時、大分への愛が胸に溢れるに違いない…などと妄想を膨らませるのだ。

出発点は大分市で毎年秋に開かれている絵画、写真、陶芸、彫刻、書道等の総合的な芸術文化祭“自遊展”。大分大学経済学部は間もなく創立百周年を迎えるが、その同窓会組織「四極会」（しわすかい）の大分支部が4年前から秋に開催している芸術文化祭を“自遊展”という。“自遊展”は昨年、大分で開催された第33回国民文化祭の参加行事に認定された事をキッカケに大きくその性格を変えた。同窓会内部の趣味の発表会に、大分の文化の拠点としての性格を付与したと言っても過言ではない。竹町ドームにステージを作って演奏会をした

り、書道吟や華道吟を披露したり…。”自遊展”が用意したステージに同窓会とは直接関係のない文化芸術を愛する人々が集まって歌や演奏、そして詩吟などを楽しんだのだ。アートプラザのメイン会場には一般市民も数多く訪れた。

先輩、後輩、同期という独特で強固な繋がりを持つ大学の同窓会。そういう大学の同窓会が地域社会のために出来ることは無いのか。独特で強固な繋がりを中心に、明確な志を持って地域社会に働きかけることが出来るのではないか。去年の経験は”自遊展”にその答えを示唆したと思われる。明確な志。それが大事だ。その志は“ふるさとを愛する心”。“自遊展”の志だ。

“大分の歌”音楽祭の輪を大きく広げたい。熱意次第でどこまでも広がる！

【開催日時】

2019年10月22日(火・祝) 14:00～17:00

【開催場所】

コンパルホール 多目的ホール (3階)

住所：大分市府内町1丁目5番38号

【観客見込み数】

100名 (出演者込み)

【スケジュール (案)】

開会式	14:00～14:10 (10分)
南蛮コール	14:10～14:25 (15分)
関の鯛釣り唄	14:25～15:15 (50分)
津久見音楽友の会	15:15～15:35 (20分)
休憩	15:35～15:45 (10分)
大分のクイズ	15:45～16:00 (15分)
めじろんダンス	16:00～16:10 (10分)
歌声喫茶	16:10～16:40 (30分)
大分大学校歌×大分大学紹介動画	16:40～16:50 (10分)
閉会式	16:50～17:00 (10分)

※出演予定団体・出演時間・出演順は変わる場合があります

【出演予定団体】

関の鯛釣り唄保存会様

津久見音楽友の会様

歌声喫茶… 波多野様ほか

南蛮コール様

※順序不同です